

2009年2月19日
シーシーエス株式会社

和傘の中でゆらぐ明かり ～日吉屋とコラボレーションで和風照明を開発～ 国際ホテル・レストランショーに初出展

工業用LED照明のライティングソリューションを提供するシーシーエス株式会社（京都市上京区・代表取締役社長 米田賢治）は、京和傘を製造販売する株式会社日吉屋（京都市上京区、代表取締役 西堀耕太郎）とのコラボレーションで、炎のようにゆらぐLEDの明かりを使った和風照明を開発しました。

この和風照明は、2009年2月24日（火）～27日（金）に東京ビッグサイトで開催される展示会「国際ホテル・レストランショー」に初出展します。

和傘をイメージ、炎のようにゆらぐ明かり

日吉屋は江戸時代後期から京和傘を製造販売する老舗の和傘店です。2007年にデザイナーなどの合同プロジェクトにより京和傘の伝統技術と構造を活かした和風照明シリーズ「古都里-KOTORI」を企画販売、2008グッドデザイン賞を受賞するなど国内外で好評を得ています。今回は日吉屋の京和傘の伝統技術にシーシーエスの照明技術を融合したゆらぐ炎の和風照明を開発。まるでロウソクの炎のようにゆらぐ明かりが、京和傘をアレンジしたセードから落ち着いた雰囲気醸し出します。

炎のようにゆらぐ明かりはシーシーエスが2004年に開発した、音に光を連動させる「ゆらぎ照明技術」がもととなっています。

この和風照明は、国際ホテル・レストランショーに出展した後、ホテル・飲食店など法人向への提案を中心に2009年度内の発売を目指します。



「京和傘ゆらぎ照明」

- ・ 色柄3種類：青海波（白）／美濃和紙（緑）
／Japanese Floral（黒地に白の花）
- ・ 明るさ調節：4段階
- ・ ゆらぎ調節：4段階
- ・ 寸法：高さ400mm×直径130mm
- ・ 電 源：AC100Vまたは単三電池4本

（写真の色柄は Japanese Floral）

京の伝統技術と京都の最新技術で京都らしさを演出

シーシーエスが開発したLEDのゆらぎ照明は、音楽のリズムと連動して光が強弱し、まるで炎のようにゆらぐのが特徴です。

一般的にインテリア照明に使われる蛍光灯や白熱球は熱を発するため、照明のセード部分の紙などが焼け変色することがありましたが、LEDは熱をほとんど発することがないので、和紙や布などの変色を防ぐことができます。また安全性の面でも熱を発する光源の場合は周囲を全て覆うデザインは難しいとされていますが、LEDは安全性が高いためデザインの幅が広がりインテリア照明に最適といえます。

日吉屋とシーシーエスは同じ京都市上京区に本社を置く京都企業です。日吉屋は京和傘の伝統技術を現代のインテリア照明用にアレンジし、その中にLED照明のシーシーエスの最新技術を組み合わせることで、昔の行燈（あんどん）を思わせる明かりが誕生、新しい京都らしさを演出することができました。

■国際ホテル・レストランショーについて

- ・会期：2009年2月24日（火）～27日（金） 10：00～17：00
- ・場所：東京ビッグサイト（東京都江東区有明3-21-1） ホール：東1-6
- ・シーシーエス出展ブース：東4ホール内 NO. 4F-401

■日吉屋について

- ・社名：株式会社 日吉屋 (Hiyoshiya Workshop co., ltd)
- ・URL <http://www.wagasa.com/>
- ・代表者：代表取締役 西堀 耕太郎
- ・本社所在地：京都市上京区堀川寺之内東入ル百々町546（自社所有店舗・工房・事務所）
TEL) 075-441-6644
- ・創業：江戸時代後期（法人改編平成15年10月）
- ・資本金：1,000万円
- ・従業員：7名
- ・営業品目：京和傘、和風洋傘、和風照明、提灯、野点用品、体験工房

<本件に関するお問合せ先>

〒602-8011 京都市上京区烏丸通下立売上ル

管理本部情報企画部 広報・IR課

TEL:075-415-8291(広報) FAX:075-415-7724 E-mail:koho@ccs-inc.co.jp

「京和傘ゆらぎ照明」シリーズ



青海波



美濃和紙



Japanese Floral